

二次試験対策ホームルーム

CONTENTS 1.企画提案試験 2.政策課題討議試験 3.人物試験（人事院面接）

1 企画提案試験

(1)概要

◇ I 部（1.5 時間 1 題）

政策概要説明紙（プレゼンテーションシート）の作成

◇ II 部（おおむね 1 時間程度）

プレゼンテーション

◇ 配点比率

5 / 28

<2023 年度：参考資料（人事院発表）>

①令和 5 年版 情報通信白書 第 2 章第 3 節

「インターネット上での偽・誤情報の拡散等」

(<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/r05.html>)

②令和 3 年版 情報通信白書 第 2 章補論

「コロナ禍における情報流通」

(<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/r03.html>)

③総務省 プラットフォームサービスに関する研究会 最終報告書

(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban18_01000075.html)

※出典：国家公務員試験採用 NAVI

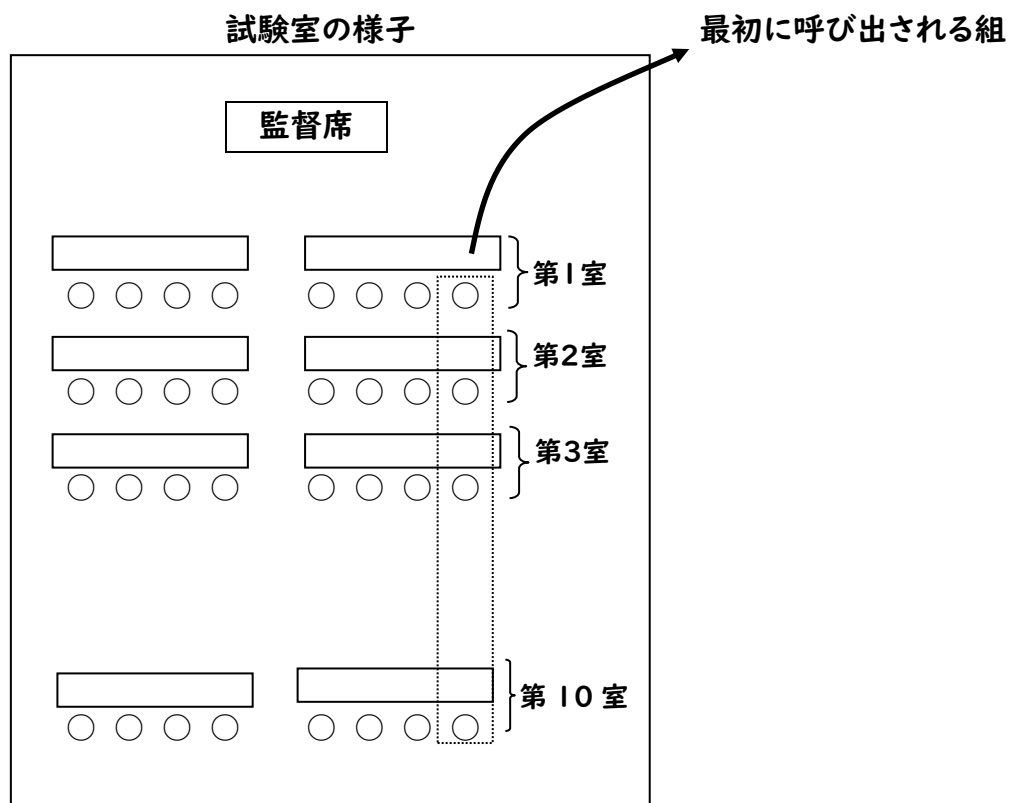
(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/sougousyoku/kyouyoukubunn/CP2023kikakuteiansiryou.pdf>)

＜参考：2022 年度の結果＞

・満点：12 点/基準点：4 点/平均点：5.951/標準偏差：2.061

| 粗点 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 標準点 | 63 | 76 | 89 | 102 | 115 | 128 | 141 | 154 | 167 |

(2) I 部の本試験復元



◇タイムテーブル(想定される流れ)

①政策概要説明紙の作成(1.5 時間)

⇒終了後、課題紙・資料・答案用紙がすべて回収される。

②性格検査(15 分・100 問)

③志望官庁等のカード記入・今後の流れ(採用情報等)を記した資料が配布される。

◇政策概要説明紙（プレゼンテーションシート）・作成のポイント

①解答用紙(p.6～7 参照)

・ A 4 両面 1 枚

・ 箇条書き，図，表など自由な形式で政策の内容を分かりやすくまとめる。

⇒あくまで提案をするための資料であることを考え、これを元に話をするための資料であることを意識しよう

（試験官から見ると、提案を聞くときの補助資料であることを意識して作成する。）。

②企画提案は、基本的には以下のような流れになる。

1. 企画の目的・意義

・ 問題文にある課題を明確に示す。

・ 企画の必要性、現状分析・問題意識を明確に示す。

⇒最終的には国民に提案するという点を考えて、わかりやすさを意識する。

2. 施策の内容・効果

・ 自分が考えた施策の内容を示す。

・ 施策によって上述の目的を達成する道筋を示す。

3. 施策の問題・解消 or 軽減のための対策

・ 施策の内容・効果の実効性を裏付けることを示す。

4. むすび

・ 施策と目標達成の因果関係を明確にし、その後の方向性を示す。

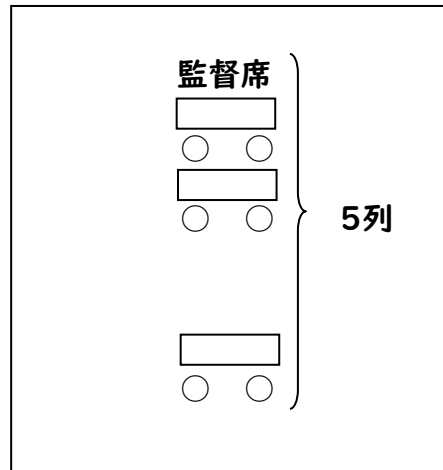
(3)Ⅱ部：プレゼンテーション・質疑応答のポイント

◇タイムテーブル(例：13:30 開始⇒次の組は 14:10～・・・その後は 30 分ごと)

①10 名ずつ呼び出されて準備室へ

※試験官は「筆記用具を持って行ってください」と言わない可能性があるが、必ず筆記用具を持って移動すること。

準備室の様子



②準備室で先に回収された課題紙・資料・答案のコピーが渡される。

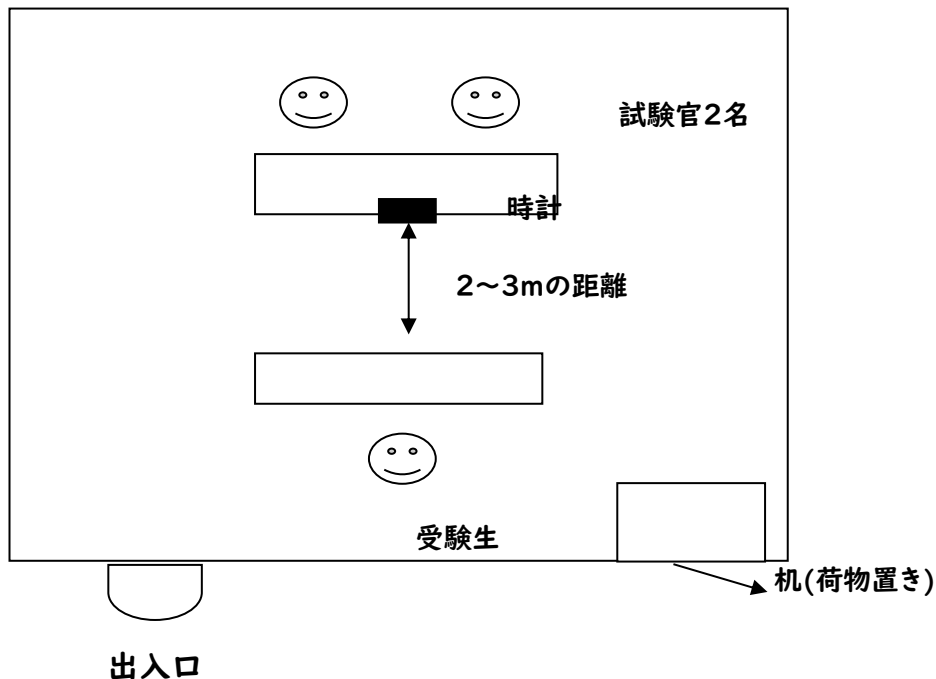
⇒10 分の準備時間が与えられる(筆記用具使用可)。

③準備時間終了後待機(5 分くらい)

④試験係員に試験室に誘導される。

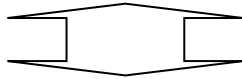
⑤プレゼンテーション試験開始(5 分でプレゼン⇒20 分程度の質疑応答)

試験室の様子



◇プレゼンテーション・質疑応答で問われる能力(p.8 参照)

①企画力+②建設的な思考力+③説明力



細かい項目があるが、**実際には試験官の印象で決められてしまう。**

(試験官はプレゼンの様子はあまり見ていないのが実情と言われている。)



上の項目の中で、**どこかで優れた部分を見せる**ことが必要

⇒自分がどの点で優れているか、すなわち**自分の武器を分析しておきたい。**

※プレゼンテーションの後に行われる「質疑応答」では、**結構厳しく突っ込まれることもある**が、そこで**へこたれないことが重要**である。



突っ込まれた事項について、**これからどのような方針で調査し、それを企画に反映させる**ことができると考えるかについて**答える**ことができれば評価が高いであろう。

<参考①-1:政策概要説明紙(表)>

企画提案試験 政策概要説明紙（プレゼンテーションシート）

| 第1次試験地 | 受験番号 | 氏名 |
|--------|------|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※枠内に濃くはっきりと内容が分かるように書いてください。

<参考①-2:政策概要説明紙(裏)>

企画提案試験 政策概要説明紙 (プレゼンテーションシート)

A large rectangular area filled with a light gray grid pattern, intended for writing the policy summary explanation. The grid consists of small squares, approximately 20 columns wide and 30 rows high.

※枠内に濃くはっきりと内容が分かるように書いてください。

<参考 I-③:企画提案試験評定票 ※ I 部で小論文が課されていた時期(2021年度以前)>

| (H24.4) | | | | | | | |
|--|----------------------------------|-----------|--|-------|---|---|---|
| 秘文書 | | 企画提案試験評定票 | | CP- | | | |
| 試験の名称 | | 試験の区分 | | 受験番号 | | | |
| 第1次試験地 | | 第2次試験地 | 試験室 第 室 | 受験者氏名 | | | |
| 実施年月日 平成 年 月 日 | | 試験官氏名 | | | | | |
| <p>[評 定]</p> <p>評定に当たっては、次の尺度に従って該当する箇所に○印をつけてください。</p> <p>A } ……優れている B } ……やや優れている C } ……普通 D } ……やや劣っている E } ……劣っている</p> <p>a b c d e</p> | | | | | | | |
| 評 定 項 目 | 着 眼 点 | 評 定 | | | | | |
| 企画力 | ○広い視野から情報を比較検討しているか | 小 論 文 | a | b | c | d | e |
| | ○問題点を把握し、その解決のための方策が計画的に述べられているか | プレゼン・質疑応答 | a | b | c | d | e |
| | ○実行可能性を考慮した内容を提案しているか | | | | | | |
| | [メモ] | | A | B | C | D | E |
| 建設的な思考力 | ○自らの考えや判断に基づいた意見を述べているか | 小 論 文 | a | b | c | d | e |
| | ○目標実現のための段取りが組み立てられているか | プレゼン・質疑応答 | a | b | c | d | e |
| | ○独創的で創意工夫に富んだアイデアがあるか | | | | | | |
| | [メモ] | | A | B | C | D | E |
| 説明力 | ○課題や質問の趣旨を理解し、的確に回答しているか | 小 論 文 | a | b | c | d | e |
| | ○説明が論理的で論旨が明確になっているか | プレゼン・質疑応答 | a | b | c | d | e |
| | ○提案の構成、展開が分かりやすく、説得力があるか | | | | | | |
| | [メモ] | | A | B | C | D | E |
| 判 定 | [判定理由・メモ] C判定以外は、判定の理由を記入してください。 | | [対象官職への適格性] | | | | |
| | | | <p>該当する判定段階に○印をつけてください。</p> <p>優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている</p> <p>A B C D E</p> | | | | |

2 政策課題討議試験

(1)概要

◇試験時間

おおむね 1 時間 3 0 分

◇配点比率

4/28

◇試験内容

- ・課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験(課題に関する資料の中に英文によるものも含む。)
- ・6 人 1 組のグループを基本として実施
レジュメ作成 (20 分) → 個別発表 (1 人当たり 2 分) → グループ討議 (45 分)

＜参考：政策課題討議試験(2022 年度本試験)の配点＞

| 評価 | A | B | C | D | E |
|-----|-----|----|----|----|---|
| 標準点 | 119 | 93 | 65 | 36 | — |

(A～E の 5 段階 評価・E 評価は不合格)

(2)政策課題討議試験のポイント

◇想定される流れ

- ①レジюме作成(20 分)：終了後、課題文とレジюме用紙は回収。討議室へ移動

<レジюме用紙>

A 4 に上の方に「政策課題討議試験 レジюме」という表題と管理番号欄・日付記入欄があるだけで、ほぼ白紙のもの。

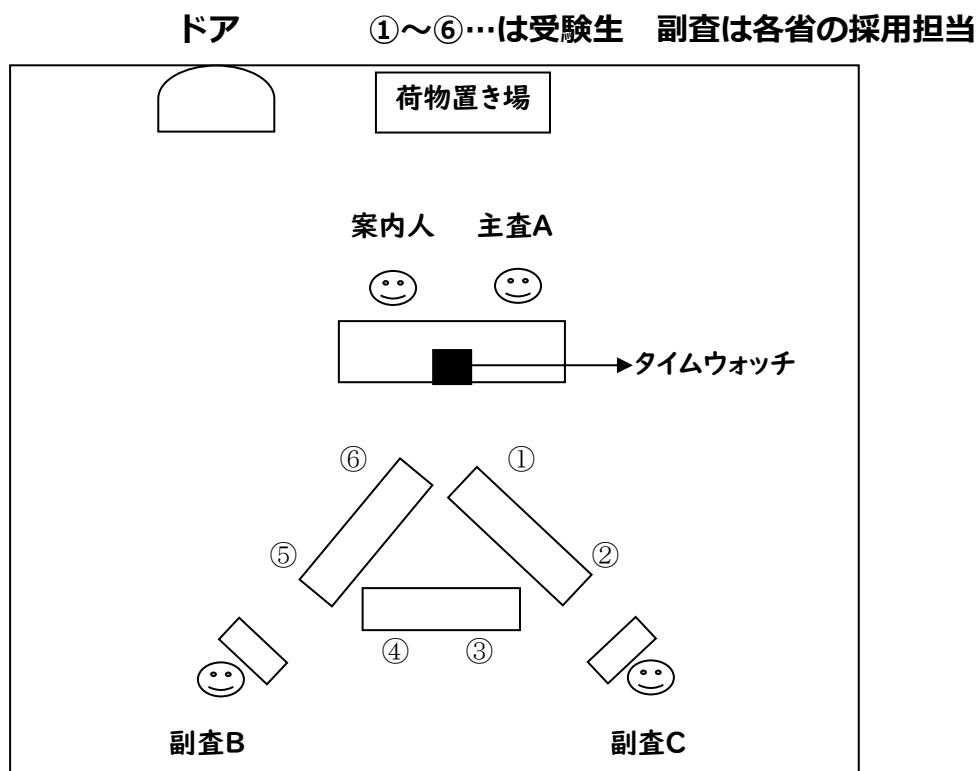
⇒採点の参考とするだけで、形式は自由と言われる。

- ②グループメンバーのレジюмеを読む時間(5 分)

- ③各自のレジюмеの個別発表(1 人当たり 3 分)⇒与えられた整理番号順に行う

- ④グループ討議(45 分)

討議室の様子



- ⑤振り返り（ 1 人当たり 3 分）

討議を経て考え方の変化を説明する。（単なる感想ではない。）

<政策課題討議試験で問われる能力> (p.14 評定票参照)

これまた細かい項目はあるが、実際には…

- ◎ 集団中で、**自分なりの役割**を見つけ出して、**それを果たすことができるかどうか**がカギとなる。
- ◎ どんな論題でも、臆することなく、**自分の役割を出せばよい。**
- ⇒ 討議の状況に応じて、自分が果たす必要があると考える役割を担っていくことが重要

<政策課題討議を有意義に進めるためのポイント>

①レジュメ作成 (20 分)

- ・自分の立場と理由を明記する。
- ・自分の立場と反対の立場双方のメリット・デメリットの比較表を作成するのも一手。
- ・他の受験生の考えをメモできるスペースも確保しておき、個別発表や討議に活かしたい。

②グループメンバーのレジュメを読む時間 (5 分)

- ・自分と反対の立場の側がどのような視点、理由をもっているかを把握する。
- ・自分の立場と反対の立場の歩み寄れる可能性を探ってみる。

③各自のレジュメの個別発表 (1 人当たり 3 分)

- ・まずは自分の結論とその理由を簡潔に説明する。
- ・他の受験生の発表では、自分と同じ意見であればその理由の共通点・相違点を確認しておく。
- ・自分と異なる意見であれば、その理由と歩み寄りを図る余地・距離感を探しておく。

④グループ討議 (45 分)

- ・どんな段取りで討議を進めるのか、まずは目途を付ける。

(例) 目的・課題の設定・共有→対応策の比較検討→まとめ・総括の手順で進める。

- ・それぞれの段階で一定の区切りがついたらそこまでの結果をまとめる、あるいは軌道修正を図るなど、討議の進捗状況に応じた的確かつ柔軟な対応をすることが望ましい。その際、討議の到達点として予め共有された目的・ゴールを常に念頭において取り組み、筋道立てて取り組むようにしたい。

⑤討議を経た上での自分の考えの変化の発表 (1 人当たり 2 分)

- ・単なる感想ではなく、討議を通じて当初立てた自分の結論がどのように深められたかを簡潔に説明出来るようにしたい。

(3)過去の論題＜教養区分試験（再現）＞

令和 4(2022)年

テーマ：入学定員に満たない大学の統廃合を進めることについて、あなたの意見は次の A・B のどちらに近いかな。

A：統廃合を進めるべきではない。

B：統廃合を進めるべきである。

令和 3(2021)年

テーマ：食品ロスを減らすことについて、あなたの意見は次の A・B のどちらに近いかな。

A：基準量以上の食品を廃棄した事業者に対して罰金を科す。

B：罰金は科さず、食品ロスについて啓発活動を行う。

令和 2(2020)年

テーマ：日本の国会議員におけるクォーター制の導入について、あなたの意見は次の A・B のどちらに近いかな。

A：賛成である。ただし、その場合は留意点を挙げる。

B：反対である。ただし、その場合は他の施策とその留意点を挙げる。

令和元(2019)年

テーマ：国の科学技術研究費の助成制度の在り方について、あなたの意見は次の A・B のどちらに近いかな。

A：「選択と集中」による助成を維持すべきである。

B：「選択と集中」による助成を廃止し、別の制度により助成すべきである。

平成 30(2018)年

テーマ：近年、プラスチックごみが紫外線などにより分解されたマイクロプラスチックの海洋汚染が問題視されている。マイクロプラスチックは P C B などの有害物質を吸着しやすく、食物連鎖によって生物濃縮され、人間が摂取することで健康被害を引き起こすことが懸念される。

一方で、マイクロプラスチックそのものを海洋から取り除く技術は現在のところ存在せず、海洋へのプラスチックごみ投棄・流出を防ぐことが重要となる。

プラスチックごみの海洋投棄を防ぐための施策として、以下のどちらの意見に近いかな討議するためのレジュメを作成しなさい。ただし、資料はレジュメ作成のための参考程度として、資料にとらわれない自由な議論を行うこと。

A：プラスチック製品の製造・使用を規制するための施策を優先的に取り組むべきである。

B：プラスチック製品の再利用を促すための施策を優先的に取り組むべきである。

なお、レジュメ作成および討議に当たっては、A については製造・使用を規制するにあたっての懸念点を挙げ、B の意見では再利用を促すための具体的な方策を議論すること。

平成 29(2017)年

テーマ：里親制度(児童虐待や経済的理由から肉親のもとを離れなければならない児童を、より家庭に近い環境で養育するための制度)の拡充を図るための施策として里親登録制度が導入されているところもあるが、あなたの意見は、次の A・B のどちらに近いか。

A：里親登録数の倍増を最優先に取り組むべきである。

B：里親登録数の倍増以外の方策を最優先に取り組むべきである。

平成 28(2016)年

テーマ：「全員参加型社会の実現に向けて高齢者の雇用をより確保したい」という観点から、

A：定年制度(現行満 60 歳)を廃止すべきである。

B：定年制を廃止すべきではない。

あなたの考えはどちらに近いか。

平成 27(2015)年

テーマ：「現在、小学校高学年において英語教育の導入が進んでいるが、これを低学年にも教科として導入することを義務づけるか、それとも教育することを推奨するにとどめるのかについて討議してください。」

平成 26(2014)年

テーマ：「通学路に防犯カメラを設置することを、地方自治体は推進している。子どもの安全に対する意識から地域住民の需要もあり、繁華街におかれることも多い。効果がある一方で、プライバシーの問題や防犯カメラは補助的な役割にすぎないという指摘もある。あなたの意見は、次の A・B のどちらに近いか。

A：防犯カメラの設置を地方自治体に義務づけるべきである。

B：防犯カメラの設置を地方自治体に推奨はするが、義務づけるべきではない。

意見 A については、防犯カメラ設置上の問題を、意見 B については防犯カメラ以外の安全対策についてもグループ討議内で扱うこと。」

(資料①毎日新聞 大阪府箕面市での防犯カメラ設置ニュース。資料②警察庁 2 月の通達「通学路などにおける子どもの犯罪被害防止対策の推進について」)

平成 25(2013)年

テーマ：「未成年者の深夜のインターネット利用を規制すべきか否か。規制すべきだとしたら具体的な方法を、規制すべきでないとしたら代替案を討議してください」(資料は子どものインターネット利用に関する統計表・韓国における規制策の資料)

平成 24(2012)年

テーマ：「死刑制度の是非について」(問題用紙にグラフ等の資料が掲載されている。)

＜参考：政策課題討議評定票＞

(別紙)

秘文書

政策課題討議試験評定票 (試験名等)

(別紙)

| | | | | | | |
|-----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実施年月日 | 実施室 | 整理番号 | 整理番号 | 整理番号 | 整理番号 | 整理番号 |
| 平成 年 月 日 | 第 室 | 第1次試験地 | 第1次試験地 | 第1次試験地 | 第1次試験地 | 第1次試験地 |
| 政策課題討議試験地 | | 試験の区分 | 試験の区分 | 試験の区分 | 試験の区分 | 試験の区分 |
| | | 受験番号 | 受験番号 | 受験番号 | 受験番号 | 受験番号 |
| 試験官氏名 | | 受験者氏名 | 受験者氏名 | 受験者氏名 | 受験者氏名 | 受験者氏名 |

| 評価項目 | 着 眼 点 | 【評 定】 評定に当たっては、次の尺度に従って、該当するところに、レ印をつけてください。 ◎ 優れている ○ 普通 △ 劣っている | | | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|--|---|---|---|---|---|---|
| 理解・判断力 | ○ 課題の内容や討議のテーマを的確に把握して説明しているか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ○ 他のメンバーの話を理解した上で応答しているか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 表現力 | ○ 討議の展開や論点を整理して建設的な発言をしているか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ○ 話の展開が論理的で内容に矛盾がないか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 討議への貢献 | ○ 論旨が明確で話にまとまりがあり分かりやすいか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ○ 説明を工夫するなど伝えたい内容が的確に伝わるようにしているか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 判定 | ○ 自分とは異なる考えや価値観を持つ者に対しても柔軟に対応しているか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ○ 他の意見に理解を示しつつ自らの考えを積極的に伝えようとしているか | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 該当する判定枠内に、レ印をつけてください。 【判定理由・メモ】 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| C判定以外は、判定の理由を記入してください。 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

| 【主任試験官の記入欄】 | | | | | |
|-------------|---------------------|---|----|---|---|
| 総合判定 | 該当する判定枠内を○で囲んでください。 | 優 | 普通 | 劣 | 優 |
| 総合判定理由 | できるだけ具体的に記入してください。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

3 人物試験（人事院面接）

(1)概要

◇人柄、对人的能力などについての個別面接 ⇒ 国家公務員としての適性の有無

- ・面接カード（p.22 参照）に従い、15～20 分程度で進められる。
- ・採用は各官庁の官庁訪問で決まるので、型通りの面接試験
- ・配点は 6 / 28 と高いので、なるべく良い点を取りたい。
- ・英語試験の活用による加点を見込めない人は、ここで加点したい。
- ・評価は、A～E の 5 段階評価で、E を取るとその時点で不合格が確定する。

<参考：2022 年度 教養区分本試験の評価ごとの標準点>

| A | B | C | D | E |
|-----|-----|----|----|---|
| 175 | 138 | 99 | 61 | — |

◇評価の基準

秘文書個別面接評定票[総合職]が示すとおり（p.23 参照）

面接官が「仕事仲間」として一緒に仕事をしていきたいと評価するかどうか

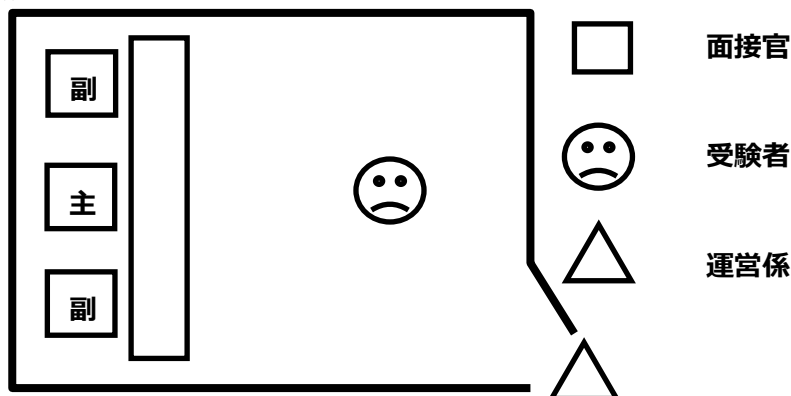
⇒一緒に仕事をしたくない人をあぶりだす。

◇面接試験の形式

面接官 3 人

（主査は人事院、副査 2 人は他省庁からのヘルプ = 採用担当者であることが多い。）

≪配置例≫



(2) 面接のための準備：面接カードに従って

◇取り組んできたこと

① これまでに自分が力を入れてきたこと・取り組んだことを思い出す

◇自分が力を入れてきた・取り組んだこと

・力を入れさせられた・取り組まされたではない。

・主体性が必要

あなたの自分が力を入れてきたこと・取り組んだことは何？

② その力を入れてきたこと・取り組んだことの目標は何だったかを思い出す

◇あなたのその行動の目標は何？

③ その目標達成のための課題を思い出す⇒その時の自分の状況・周囲の状況など

◇あなたの目標達成のための課題は何？

④ その課題をクリアするために何をしたのかを思い出す

あなたが具体的にやったことは何？

⑤ その結果、どのような成果があったかを思い出す

あなたが具体的に行動したことで得られた成果は何？

⑥ ①～⑤の行動から、自分自身に備わっていると確認された力、ないしその行動によって得られた力を思い出す

◇あなたは上の行動からどのような特性を見出した？ or どのような力を得た？

◇これを公務員の仕事にあてはめて、どのように活かしていくかを考える



〔志望動機〕の「これまでの体験や自分の長所」とする。

<point>

自分の強み(自分のコア)を探るために

次の① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④ ⇒ ⑤ ⇒ ⑥の手順で分析をすすめる。

◇志望動機

なぜ国家公務員？

⇒公務員という仕事を通じて社会にどのような働きかけをしていきたいのか

①公務員を目指したきっかけ

⇒そもそもいつ頃公務員を考えるようになったのか？・そのきっかけは何か

②就職をするにあたり、公務員試験を本命にしたのはなぜか？

⇒公務員とはどのような仕事をする人だと考えているか・その仕事を通じて社会とどのように関わりたいのか

③具体的にどのような仕事をしたいのか？・それはなぜか？

④その仕事をしていく上での理想像があるか？・それはどのようなものか？

⑤なぜその官庁なのか？

⇒その官庁で公務員として働くことの必然性を探っていく

⑥その官庁でどのような仕事をやりたいのか？・それはなぜか

⑦その仕事を自分が行っていくことで、どのようなわが国をつくりたいのか

※⑥について、実際に行われている政策にはどのようなものがあるか

⇒これは知識として最低限のものをインプットしておけばよい。

⇒そのような人を欲しがるとは存在しない。

ここで考えなければならないのが、面接における面接官の達成感

◇中段にある「これまでに取り組んだ活動や体験」について掘り下げて、その受験生の課題に対する取り組み方（考え）を探る。

◇そこから感じ取ることができるその受験生の特性を、その受験生自身が自覚しており、下段の「志望動機」で展開できているかどうか。

◇そこに一連の流れを汲み取ることができれば、その面接は面接官にとって、達成感の高いものとなる。⇒高い評価につながる。

以上をふまえたうえで、

①～⑦のことをキッチリ考え、面接で何を話すかを確定させてからカードを作る。

(3)面接カードの書き方(P.22 参照)

<point> 面接カード作成・活用の目的と手段を取り違えないこと。

- ◎ 面接カードの質問になんと書いてあるかを考えよう。
- ◎ 面接カード＝面接で皆さんを掘り下げていくためのツールであること。

◇これまでに取り組んだ活動や体験

- ・ 簡潔に記入する。
- ・ 詳細に書かない。・・・詳細に書くと「聞きしろ」がなくなってしまう。
- ・ 聞いてほしいこと＝話したいことについては抜いて書く。
(ただし、その話を引き出すようなタームは残しておく。)

◇志望動機

- ・ 国家公務員としてどのような貢献ができるのか、具体的に記入する。
- ・ 自分自身に備わっていると確認された力、ないしその行動によって得られた力を活かして、どのような社会を作りたいかを述べていきたい。

◇日常生活その他

- ・ 特筆事項がなければ、項目を挙げてカッコ書きで概略を書けばよい。

具体例

趣味：サッカー(高校まで部活動、現在は友人達とフットサルを週 1 回程度)

資格：TOEIC 820 点

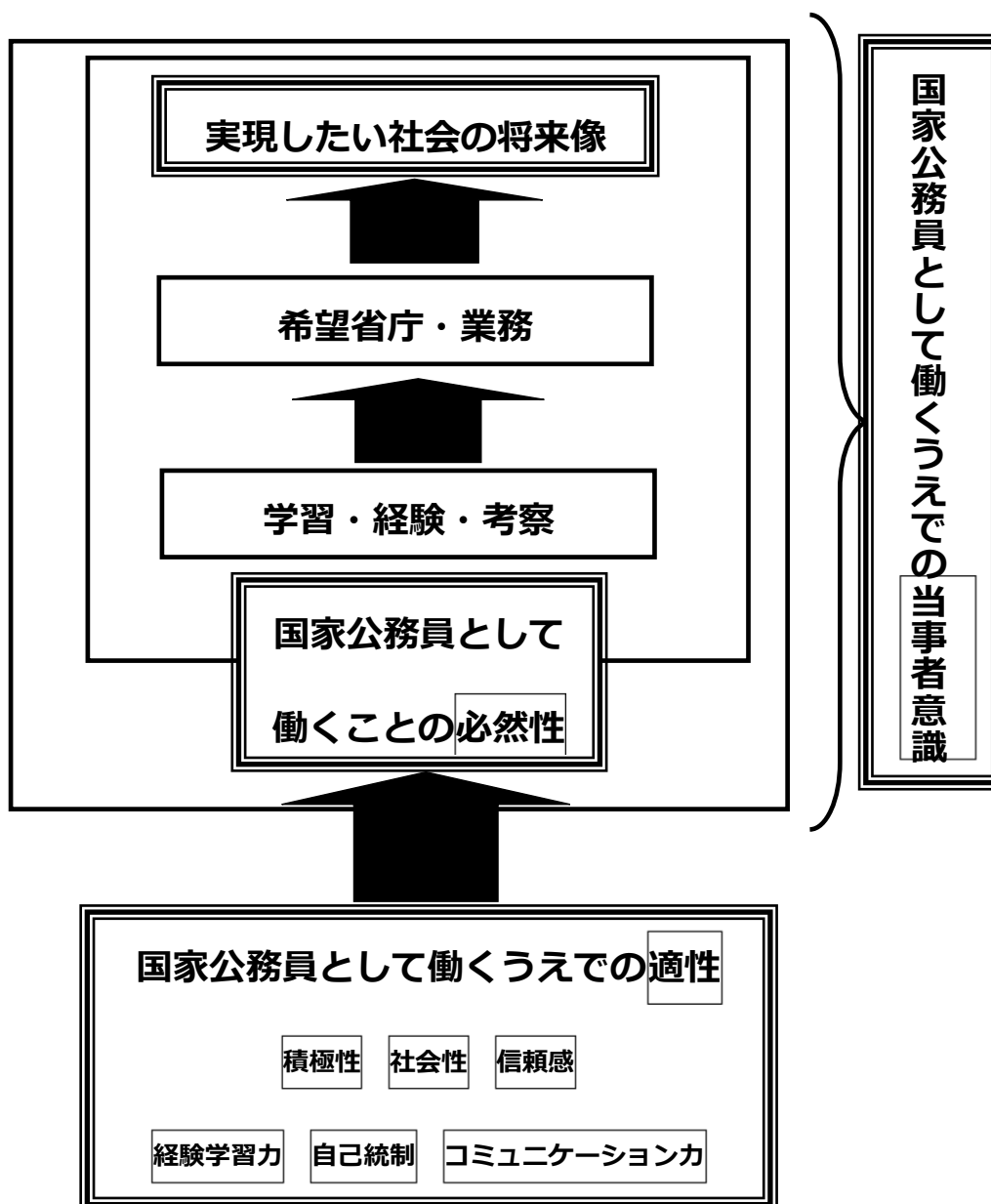
関心事：東アジア情勢(10 年後の中国・米国・我が国の立ち位置に関心がある)

(4) どう話すか

<point>

「面接カードに書いてある言葉」＝「書き言葉」≠「話し言葉」を自覚したうえで面接官との受け答えをする。

<想定しておくべきイメージ図>



(5) マナーについて

<point>

- ◇「入室」～「退室」に至る一連の動作をテンポ良く行う。
- ◇質問内容を的確に把握する。
- ◇簡潔明瞭な受け答えを心がける。

◇入室

- ①外からノックを2回する。

※ノックの回数については正式には4回ですが、我が国では通例2回となっているため、あまり気にしなくて良い。

- ②「どうぞ」と言われてからドアを開ける。

- ③入室後、面接官を背にドアを両手で閉め、面接官の方を振り返り大きな声で「失礼します」と言った後、頭を下げる（お辞儀＝30度）。

※ドアを開けて試験官が見えても、ドアを閉める・試験官の方を振り向くといった1つ1つの動作が終わってから挨拶する。

☆言葉とお辞儀(動作)は別々に⇒必ず言葉→動作

- ④椅子の隣に立ち、真ん中に座っている面接官に向かって「受験番号〇〇番、〇〇と申します。よろしくお願いします」と言った後、頭を下げる（お辞儀＝45度）。

※椅子の隣⇒右側でも左側でもよい＝通例出口に近いほう

- ⑤着席を勧められてから、「失礼します」と言い、その後、席に座る。

◇着席

- ①背筋を伸ばして座る。深く腰掛けすぎると背筋が伸びないので注意。
- ②手の位置は、男性は軽く握って両ひざの上に置く。女性は重ねてひざの上に置く。
- ③両足は床に垂直、あるいは少し面接官側に置くようにする。
- ④男性は、足は肩幅くらいに開き、女性は閉める。

◇面接中

- ①目は相手の鼻の頭くらいを見る。
- ②時間が長くても、貧乏ゆすりなど、手や足を動かしたりはしない。
- ③面接官の話が長いときは、話の切れ目を見つけて小さくうなずく。
- ④表情にメリハリをつけ、ハードな話題では真剣にソフトな話題では明るい表情で話す。
⇒「実感」のある言葉で話す。

- ⑤体がどちらかに傾かないように両肩の高さが同じになるようにする。
 - ⑥本番は早口になりがちなので、ゆっくり話しているつもりぐらいで話すと丁度良い速さになる。
- ※模擬面接で早口と指摘された人は、「これでは遅くないか」くらいの意識でよい。

◇退室

- ①面接が終わったらすぐに椅子の横に立つ。
- ☆座ったまま「ありがとうございました」はNG。
- ②椅子の横で、「ありがとうございました」と言う（お辞儀＝45度）。
 - ③ドアの前まで歩いていき、面接官の側に向きを変えて「失礼します」と言った後、頭を下げる（お辞儀＝30度）。
- ☆ここも言葉⇒動作
- ④ドアを開けて、真ん中の人を見ながら軽く一礼してから閉める。
 - ⑤退室してもすぐに気を抜かず、適度に緊張感を持って会場を後にする。
- ※会場でなされた注意事項には必ず従う。ノックをしない、最初に受験した職種区分を言う、大学名を言わないといった例がある。
- ※こうしたマナーは実際にやってみないと身につかない。模擬面接や仲間とのシミュレーションが大切。

参考：面接カード

面接カード（総合職）2022

このカードは人物試験の際に質問の参考資料とするものです。事前にボールペン(自筆)で記入してコピーを2部取り、原本と併せて3部を人物試験当日に持参してください。(様式を変更しないでください。)

なお、出身校や会社名などが特定されるような記入は避けてください。(該当する□には✓を付けてください。)

| | | |
|--------|-------|------|
| 試験の名称 | 試験の区分 | ふりがな |
| 第1次試験地 | 受験番号 | 氏名 |

〔最終学歴〕

☐ 大学院(博士・修士・専門職)

☐ 大学

☐ その他()

☐ 修了・卒業(年 月)

☐ 在学 (年 月 修・卒見)

☐ 中退 (年 月)

〔職歴〕

☐ ある

☐ ない

主な職種

〔専攻分野〕

〔これまでに取り組んだ活動や体験〕達成感があつたと感じたり、力を入れてきたりした経験について、どのような状況で(いつ頃、どこで、誰と等)、どのようなことをしたのか、簡潔に記入してください。

① 学業や職務において

② 社会的活動や学生生活において

③ 日常生活その他(資格、特技、趣味、社会事情などで関心のあること等)において

〔志望動機〕これまでの体験や自分の長所などを踏まえ、国家公務員としてどのような貢献ができるのか、具体的に記入してください。

〔志望官庁〕(複数可)

参考：個別面接評定票

(平 24. 3)

秘 文 書

個 別 面 接 評 定 票 [総 合 職]

C -

| | | | | | |
|--|----------------------------------|--|-------------------|--|-------|
| 試験の名称 | | 試験の区分 | | 受験番号 | 受験者氏名 |
| 第 1 次試験地 | 人物試験の試験地 | 試験室 第 室 | 実施年月日 平成 年 月 日 | | 試験官氏名 |
| [必須評定] 必須評定項目の評定に当たっては、該当する箇所に✓印をつけてください。 | | | | | |
| 評定項目 | | 着 眼 点 | | 評 定 | |
| 積極性 | 意 欲 行 動 力 | ○ 自らの考えを積極的に伝えようとしているか | | 優 普通 劣 | |
| | | ○ 考え方が前向きで向上心があるか | | | |
| | | ○ 目標を高く設定し、率先してことに当たろうとしているか | | | |
| | | ○ 困難なことにもチャレンジしようとする姿勢が見られるか | | | |
| 社会性 | 他 者 理 解 関 係 構 築 力 | ○ 相手の考えや感情に理解を示しているか | | 優 普通 劣 | |
| | | ○ 異なる価値観にも理解を示しているか | | | |
| | | ○ 組織や集団のメンバーと信頼関係が築けるか | | | |
| | | ○ 組織の目的達成と活性化に貢献しているか | | | |
| 信頼感 | 責 任 感 達 成 力 | ○ 相手や課題を選ばずに誠実に対応しようとしているか | | 優 普通 劣 | |
| | | ○ 公務に対する気構え、使命感はあるか | | | |
| | | ○ 自らの行動、決定に責任を持とうとしているか | | | |
| | | ○ 困難な課題にも最後まで取り組んで結果を出しているか | | | |
| 経験学習力 | 課題の認識 経験の適用 | ○ 自己の経験から学んだものを現在に適用しているか | | 優 普通 劣 | |
| | | ○ 自己や組織の状況と課題を的確に認識しているか | | | |
| | | ○ 優先度や重要度を明確にして目標や活動計画を立てているか | | | |
| | | ○ 他者から学んだものを自己の行動や経験に適用しているか | | | |
| 自己統制 | 情 緒 安 定 性 統 制 力 | ○ 落ち着いており、安定感があるか | | 優 普通 劣 | |
| | | ○ ストレスに前向きに対応しているか | | | |
| | | ○ 環境や状況の変化に柔軟に対応できるか | | | |
| | | ○ 自己を客観視し、場に応じて統制することができるか | | | |
| コミュニケーション力 | 表 現 力 説 得 力 | ○ 相手の話の趣旨を理解し、的確に回答しているか | | 優 普通 劣 | |
| | | ○ 話の内容に一貫性があり、論理的か | | | |
| | | ○ 話し方に熱意、説得力があるか | | | |
| | | ○ 話がわかりやすく、説明に工夫、根拠があるか | | | |
| [プラス評定] 次の評定項目について該当するものがあればその箇所に✓印をつけ、プラスの評価として判定に反映させてください。 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 問題発見能力 <input type="checkbox"/> バランス感覚、視野の広さ <input type="checkbox"/> 創造性・独創性 | | <input type="checkbox"/> リーダーシップ <input type="checkbox"/> 決断力 <input type="checkbox"/> 危機への対応力 | | <input type="checkbox"/> 企画力 <input type="checkbox"/> 行動力 <input type="checkbox"/> 高い倫理性、社会的貢献への強い自覚 | |
| 判 定 | [判定理由・メモ] C判定以外は、判定の理由を記入してください。 | | | [対象官職への適格性] 該当する判定段階に✓印をつけてください。 | |
| | | | | 大いにある かなりある ある 標準より劣る 極めて乏しい A B C D E | |

【主任試験官の記入欄】

| | |
|------------------------------|--|
| [総合判定の理由] できるだけ具体的に記入してください。 | [総合判定] 該当する判定段階を○で囲んでください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D E </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 合 格 不 合 格 </div> |
|------------------------------|--|